

第 287 号

宮 城 県

商工連合会報

発行所 仙台市青葉区上杉一丁目14番2号
 宮城県商工振興センター内
 宮城県商工会連合会
 TEL. 022(225)8751
 FAX. 022(265)8009
 URL.http://www.miyagi-fsci.or.jp/
 発行者 天 野 忠 正
 印刷所 株式会社高橋プリント

がんばろう宮城

宮城県商工会連合会・県下33商工会



綴じ込んで保管しましょう

ここたどんと祭

小牛田駅から約2kmのところにある山神社で、裸参りも行われ近隣町村から大勢の参拝客が訪れるお祭りです。

～山神社～ 古来より縁結び、子授、安産並びに山仕事に携わる人たちにご利益があり、明治30年頃に発売された「子持ちまんじゅう(山の神まんじゅう)」はご利益と相まって参拝記念のお土産として喜ばれています。

◆開催日／平成25年1月14日(月・祝)＜毎年同日＞

◆時 間／16:00～21:30

◆場 所／山神社 美里町牛飼字齊の台37

■関連URL／遠田商工会ホームページ

<http://www.tooda.miyagi-fsci.or.jp/>

■お問合せ:遠田商工会小牛田事業所

0229-33-2309

C O N T E N T S

- 年頭のご挨拶(宮城県商工会連合会長)----- (2)
 (宮城県知事)----- (2)
- 第52回商工会全国大会----- (3)
- 2012ニッポン全国物産展----- (3)
- 復興への道標(名取市)----- (4)
- 商工会事業の紹介(加美)----- (4)
- 経営革新計画承認事例(遠田)----- (5)
- 商工会事業の紹介(栗駒鶯沢)----- (5)
- 創業塾の開講のお知らせ----- (6)
- ある日の指導員日誌から----- (6)
- 平成24年度税制改正----- (7)
- 青年部コーナー----- (8)

小規模事業者の経営力の強化を

宮城県商工会連合会

会長 天野 忠正



年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。わが国経済は、世界景気の減速・円高やデフレ等により中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

また、東日本大震災から早一年九か月が過ぎ、被災地域では全国より多大なるご支援ご協力をいただきながら、仮設店舗や仮設商店街による営業の再開、グループ施設等整備補助事業の採択を受けた水産加工場などが本格稼働する

など、着実に少しづつ歩み始めておりますが、震災による傷痕は依然として深く、被災した中小・小規模事業者の経営は大変厳しいものとなっております。

更に、福島第一原発事故による風評被害等で観光等のみならず、県内の中小・小規模事業者をはじめ産業全体が大きな打撃を受けております。

このようなことから、引き続き被災地域の事業所や商工会の声を集約し、国・県等関係要路に対して継続的な支援の要望・陳情活動を積極的に進めて参りますとともに、会員事業所の事業再開・再建に向けて尚一層の支援を強化して参る所存であります。

他方、これまでの中小企業政策の反省、改善すべき点と今後の中小・小規模企業政策のあるべき方向性を整理した「ちいさな企業」未来会議の取りまとめの中で、商工会、商工会議所等の既存支援機関は、複雑化・高度化している相談に十分に対応できていないのではないかと、指摘があり、商工会の「現場力」、「認知度」の抜本的な向上と併せ、経営支援機能の強化を図ることが喫緊の課題となっております。

専門性の高い支援を行い、小規模事業者の経営力の強化を図って参りたいと考えております。

加えて、全国統一のスローガンである「商工会は行きます聞きます提案します」のもと、巡回訪問を徹底・強化するとともに、提案型の巡回訪問に注力し、小規模事業者が潜在的に抱える経営課題の解決に向けた支援を強力に推進いたします。

結びに、関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、会員の皆様方のご健勝とご繁栄を心よりご祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。

復興に向けて「種」をまく年に

宮城県知事

村井 嘉浩



あけましておめでとうございます。

宮城県内に未曾有の被害をもたらした平成二十三年三月十一日の東日本大震災から一年九か月余りが経過しました。この間、被災地の復旧・復興に向けて、全国の皆さまからの御支援と御協力の下、県民一丸となって最大限の力を注いでまいりました。

県では、平成二十四年を「復興元年」と位置付け、「宮

城県震災復興計画」（平成二十三年十月策定）を着実に推進するため、「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」を三月に策定し、復旧・復興に向けた取組を本格化させたところでです。

また、十月には震災後初の全国規模のイベントである「ねんりんピック宮城・仙台2012」を開催し、全国から多くの方々に本県を訪れていただくことができました。

今年には「宮城県震災復興計画」に掲げる「復旧期」の最終年に当たることから、「再生期（平成二十六年度）二十九年度」を視野に入れ、

発展の「種」をまくことができるよう、復興に向けた取組を加速させてまいります。

さて、「仙台・宮城デザイン・ファッションキャンペーン」が四月から六月に開催されます。今回のDCは、仙台・宮城の観光に「元気」と「輝き」を取り戻すため、観光復興の姿を全国に強く発信し、震災からの復興はもとより、あらためて観光王国みやぎの実現を目指して展開してまいります。

震災でお世話になった全国の皆様への恩返しとして、「笑顔咲くたび伊達な旅」のキャッチコピーのもと、最高のおもてなしをしたいと考え

ております。

復旧・復興への道のりは長く険しいものですが、十年をかけて、震災前の状態に戻す「復旧」とどまらず、将来の県民生活を見据えた抜本的な再構築によるふるさと宮城の再生とさらなる発展を目指して、積極果敢にチャレンジしてまいります。明るい未来を目指しながら、県民の皆さんと手を携え一緒に進んでまいりたいと考えておりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

年頭に当たり皆様方の御健康と御多幸を心からお祈り申し上げます。

第五十二回商工会全国大会

～天野会長が力強く意見表明～

第五十二回商工会全国大会が十一月二十二日、東京のNHKホールを会場に、本県から商工会長及び副会長等七十名を含む、全国各地より商工会関係者総勢約三千名が参加し盛大に開催された。

来賓に、野田内閣総理大臣、安倍自由民主党総裁、山口公明党代表をはじめ多数の国会議員を迎え、野田内閣総理大臣の祝辞では、先月被災地である岩手県山田町に訪れたエピソードに触れ「東日本大震災の復旧に全力で取り組んで



挨拶する石澤全国連会長



意見表明をする天野会長

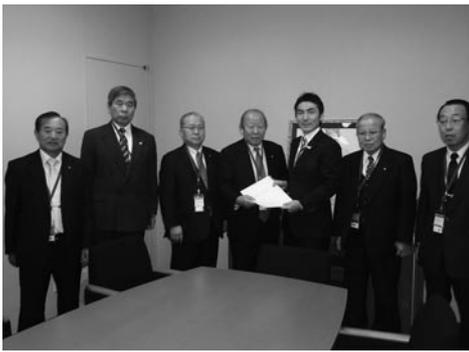
いる商工会に敬意を表す」と商工会への感謝を述べるとともに、「行政と会員事業所の間に立って、多種多様な国の施策の推進者になって欲しい」と商工会の活動に期待を示した。

また、大会副会長である本会天野会長が最重要項目として、「中小・小規模企業対策の強化」と「東日本大震災被災地への支援及び原発事故の早期収拾」そして「商工会の機能強化」を訴え、満場一致で大会決議として決定された。

【大会決議】
一、大型の景気対策の実行、
中小・小規模企業対策
の強化

- 一、東日本大震災被災地への支援及び原発事故の早期収拾
- 一、中小・小規模企業のための金融・税制・労働対策等の実施
- 一、地域コミュニティ維持活動等の推進・強化、「まちづくり」への支援
- 一、巡回訪問の一層の推進を通じた商工会の支援機能の強化

また大会の前日、天野会長をはじめとする本会三役が、衆参両議員会館を訪問し、本県選出の国会議員に対して、中小企業等グループ施設復旧・整備支援補助金の拡充と継続支援や消費税増税に係る被災地域への配慮等を盛り込んだ要望書を手渡した。



熊谷大参議院議員に要望書を手渡す県連三役

地域の魅力を再発見！

「地域力宣言2012ニッポン 全国物産展INサンシャインシティ」

十一月二十三日(金)から二十五日(日)の三日間、東京・池袋サンシャインシティにおいて「地域力宣言2012ニッポン全国物産展」が開催され、全国三百六十一の事業所が出展、期間中約十四万五千人の来場者で賑わった。

ハートフルランド・ジャージー牧場(株)が出展し、「ジャージーエラートアイスクリーム」が、多くの来場者から好評を得ていた。

また、むらおこし特産品コンテスト(非食品部門)において、みやぎ仙台商工会、(株)環境開発の「イデアルグリー」が栄えある全国商工会連合会会長賞を受賞した。

本物産展は、全国の地域資源等を活用して開発された特産品を中心に、各地域の特色を生かした産品を一堂に集め、その成果普及や各地の観光PRを行い、産業おこしによる地域経済の活性化自立化に寄与することを目的に全国商工会連合会が開催している。

会場はバイヤーの方々も多数ご来場いただき、各所で名刺交換や商品説明が行われ、今後の販路拡大に繋がる出会いの場となった。

本県からは、全国展開プロジェクト事業や商工会むらおこし事業等にて開発された商品を中心に十事業所が出展、漬け物や海産物、飲料・菓子類などが販売されるとともに、今回で三回目となった「全国ご当地おやつランキング」コーナーには、大崎商工会の



多くの来場者で賑わう会場風景

名取市商工会

復興への道標 19

感謝の笹かまで再生

(株)佐々直

弊社は名取市閉上で笹かまぼこなどの製造、販売をしておりましたが、震災により三つの工場が流失・全壊となつてしまいました。当初は、途方に暮れておりましたが、お客様の励ましに応えたい、閉上の文化まで津波に流されたくないという思いで再起を決意しました。

再開を決めてからは、とにかくスピードを重視しました。震災後、物資が少ない県内に少しでも早く供給できるように、また、長く休むことによる客離れを防ぐためです。

解雇した社員を十数人再雇用し、幸運にも残った工場を改修し、震災より約一か月半後の四月二十日に二ラインだけ、笹かまぼこ製造を再開すること



感謝の笹かま



震災で被災した工場(上)と新工場(下)

とができました。

販売を開始して早々に「待っていたよ」とおっしゃっていたお客様が多く、改めて再開の喜びとお客様への感謝の気持ちでいっぱいだったことが思い出されます。

私達は、お客様の応援によって支えられていることへの感謝の気持ちを表したい、さらに被災地を応援してくれている全国の皆様に感謝を伝えたいとの思いから、商品の前面に大きく「感謝の笹かま」と書いた商品を作り販売を始めました。

初めは少しでも震災復興に協力出来ればとの思いでしたが、支援頂いたお返しを考えると方々のニーズにマッチし大変好評で喜ばれております。その後、仮設ながらも新工

商工会事業の紹介

110111

全国ポータルサイトサミットに宮城

加美商工会

去る十月十九日・二十日と大崎市「芙蓉園」において開催されました事業の経緯について報告致します。

ポータルサイトとの出会いは、平成十八年度の事業団研修専門コース(東京校)受講まで遡ることになります。「電子商取引支援のポイント」の講師として中小企業診断士加藤忠宏先生と「風林火山ビジネスネット」上野政巳委員長との運命的な出会いでありました。

当時からITに関しては西場の立ち上げなど、復興に向けて少しずつ歩みを進めております。これからも皆様への感謝の気持ちを忘れず社員一同、頑張っていきます。

高東低の状況にあり、カルチャーショックを受け宮城県でもスタートしなければとの思いが芽生えたのでした。

その後、多くの講習会、補助事業を行い各金融機関、商工会、会議所、会員事業所の支援・協力により、平成二十一年十二月に東北で初めての本格的B to Bのポータルサイトを立ち上げたのでした。

一般に商工会は商業に関する支援や補助金に関する多くのノウハウは蓄積できていましたが、工業、特に製造業等については中々踏み込んだ支援や訪問ができない状況にあります。昨今、巡回訪問が重視されておりますが、誘致企業や地



加藤先生による電子商取引支援の説明



熱心に受講する参加者達

元の大手企業との情報交換、また、会員同士の事業内容の公開の場、更に県外からの大規模企業の誘致への情報提供、そして会員加入推進等の問題も、全て同時進行できるのがポータルサイトだと確信しました。

現在全国にはポータルサイトが三十ほど活動しており相互にリンクを張り巡らして営業活動の一助として活用しています。このサイトが年に一度サミットという現実の世界での交流会を持ち最新知識と情報交換の場をサミットで実践してきています。

一昨年の東日本大震災後の情報発信の機会を「宮城県」からの配慮の基に開催することができました。

当日は、遠くは京都市、岐阜市等全国から百四十名の参加者があり、盛会のうちに終了いたしました。

【企業概要】

企業名：(株)佐々直
業種：水産食品製造・販売
代表者：代表取締役社長 佐々木 直哉
所在地：宮城県仙台市太白区中田町字清水 15-1
TEL：022-241-2324 (代)



弊社は、食品加工業等に対する包装材料提供、包装材料の製造・販売を行う会社として消費者ニーズや市場動向を分析した効果的なデザインを企画・開発することを強みとする会社です。今から十五年ほど前に、事業コンセプトを「感動表現提供業」と設定し、食品包装資材の販売、パッケージデザイン、通信販売を手掛けてきました。

このたび、弊社がこれまで

に培ってきた、高い付加価値をもった商品を消費者へ届けるノウハウを活用するとともに、「価格競争から価値競争」への商品作りと、仕掛けと仕組み作りにさらに磨きをかけ、安心で簡易、長期保存可能で栄養価が高く、胃袋の満足感だけでなく、「心身ともに元気になる、ほっとする郷土の味」をテーマに、東北六県の名物伝統鍋汁をカップインした、レトルト製法の新商品「東北六県汁」の開発を行いました。

フランスの国家最優秀職人賞「M. O. F」の称号を与えられたシェフの指導のもと、子供からお年寄りまで誰もが食べられるよう、安全な自然調理法と安心な素材で調理し、化学調味料・保存料に依存せず（無添加の実現）、とことん手間ひまをかけて加熱調

遠田商工会

経営革新計画承認企業の紹介⑱

包装技術のノウハウを

活用した新商品開発

「東北六県汁」の開発による経営革新

東興包装材料株

代表取締役後藤 啓治 氏

これら商品の開発を通して

理することにより、「出来たて感を大切にした味」、「食材本来の美味しさ」を再現することに成功しました。

これらの商品開発を通して、「納得から満足へ、そして感動へ」の価値創造にさらにチャレンジするとともに、お得意先への企画提案・商品サンプル化、そして、お客様と繋がる捨てられない販促印刷物まで、お役立ちの事業の活動行動が既存事業の売上と利益につながる信じ、当社の経営革新を進めていきます。



【企業概要】

事業所名：東興包装材料株式会社
 所在地：遠田郡涌谷町字田町裏 139-2
 連絡先：0229-43-4113
 代表者：代表取締役 後藤 啓治
 URL：http://www.umaoku.com/

商工会事業の紹介

名物料理開発事業について

地域名物料理「栗駒へそ井」

栗駒鷺沢商工会

一昨年度開催した「地域問題懇談会」において、栗駒・鷺沢には豊富な食材があるにもかかわらず、これといった名物料理がないのではないかとこの指摘がありました。

そこで、昨年度より地場産品の食材を活用した新たな名物料理を開発することになりました。新たな顧客を開拓し、地域活性化に結びつけるべく、「地域名物料理開発委員会」を立ち上げました。

委員会において、再度、地場産品の掘り起しを行った結果、「栗駒高原だいこん」を活用した料理を開発してはどうかという意見が出され、大根料理に取り組むこととなりました。

各委員より多くの大根料理の提案をいただき、その中で昔からの食材でもある「へそ大根」をメインとすることに決定し、どんぶりの中心にへそ大根を盛り、豚肉、玉ねぎ、人参等を煮詰め味付けしたどんぶり料理が出来上がりました。



栗駒へそ井

委員会では、そのどんぶりを「栗駒へそ井」と名付け、今後、栗駒・鷺沢地区の名物料理として大いにPRし、販売していくこととなりました。

今後は、栗駒・鷺沢地区の各飲食店が「へそ大根」を利用したそれぞれのオリジナル料理を「栗駒へそ井」としてお客様に提供できるよう努めて参ります。

この活動を通じて、地域の豊富な食材に端を発し、地域活性化に繋がります。

あなたの夢を実現しませんか 創業塾 開講のお知らせ

☆創業を目指しているが、あれこれ不安があるあなたへ創業塾のご案内

講師
 ◎有まる進 代表取締役 渡辺 進也 先生
 ◎たすくマネジメントオフィス 代表 鈴木たすく 先生

商工会連合会創業塾の特色
 ☆創業の夢が具体的に進みます。
 ☆同じ志を持った仲間との交流が出来ます。
 ☆創業支援経験の豊かな講師陣が多数支援いたします。
 ☆アフターフォローもご用意しております。

内容 日時	カリキュラム等
1月12日(土)	オリエンテーション、自己紹介 創業の心構え(経営者視点、成功する創業) 棚卸SWOT(これまでの振り返り) 理想像の明確化【事例】えっぐおっさん、佐々様、中川様、小林様
1月19日(土)	マーケティング戦略 マーケティングとは?売れる商品、効果的な広告手法、販売計画書の作成 企画提案書(プレゼンシート)の作り方
1月26日(土)	お金 数値化 資金計画、損益分岐点 自分の給料を確保するにはいくら売上げればいい? 資金調達(計画書、いくらまで借入ができる) 創業にかかる手続き(許認可、税務、社会保険)
2月2日(土)	事業計画書の必要性(約1時間ほど) プレゼン(全員)、講師コメント 講師講評

◆会場:TKP仙台西口ビジネスセンター
 仙台市青葉区本町1丁目5-31 シエロ仙台ビル2階
 ◆定員:30名(定員になり次第締め切ります)◆受講料無料

☆参加申込先:宮城県商工会連合会 仙台市青葉区上杉1丁目14-2
 電話022-225-8751 FAX022-265-8009 Email:kouikishien@office.miyagi-fsci.or.jp
 担当係:広域支援室 広域支援班



「震災からの復興を目指して」

多賀城・七ヶ浜商工会
主任主査

児玉 徹



新年明けましておめでとう
 ございます。
 早いもので、県内各地に大
 きく悲惨な爪痕を残した「東
 日本大震災」からもう二年の
 月日が経とうとしておりま
 す。
 本会ではこの二年余の間、
 我々商工会をはじめ各機関
 が、様々な支援メニューを
 もって、会員事業所、地元住
 民の皆さんの復旧・復興に向
 けた取り組みを支援し、サ
 ポートを続けて参りました。
 関わった全ての方々、弛ま
 ぬ努力の甲斐あって、インフ
 ラ等の基盤整備も進み、中心
 部では、往時の街の佇まいを
 取り戻し、今日では復旧が済
 んだかに見えるまでとなりま
 した。
 しかしながら、津波の直撃
 を受けレッドゾーンとなっ
 ている沿岸部等の復旧はまだ緒
 に就いたばかりで、雇用の悪
 化や人口減少等の多くの問題
 が山積しております。
 このような状況で、本会
 では本年度、六次産業化に
 より民間経営資源を集約す
 る「七ヶ浜ハーバースクウェア
 ア事業」の平成二十六年実
 現化に向けて委員会を立ち上
 げ、地域雇用の確保と会員事
 業所の事業機会の創出を目指
 して日々検討を重ねていると
 ころであります。
 地域の方の七ヶ浜への想い
 を集約するのは難しい調整と
 なりますが、地域を知り、指
 導員としての資質を磨いてく
 れるものと思っております。
 また、用地と売り物であつ
 た魚介類の確保が厳しい状況
 の中、震災以来開催できず
 いた地域イベント「七の市」
 も、役場・農協・漁協・ボラ
 ンティア団体等の協力を得
 て、本年度から商工会が中心
 となって、毎月趣向を凝らし
 て再開しているところであり
 ます。
 これらの事業を通じて、会
 員事業所を取り巻く経営環境
 を少しでも改善させられるよ
 うに努めることが、ひいては
 七ヶ浜の復興に繋がっていく
 ものと信じ邁進していきたく
 と思っております。
 これから益々会員さんとの
 より強固な信頼関係を構築し
 ていくことが必要と感じてお
 りますので、なお一層の巡回
 訪問の徹底と相談しやすい雰
 囲気づくりに努め、日々自己
 研鑽に努めて参りたいと思っ
 ております。

税のひとくち知識

平成24年分所得税に適用される税制改正の主要事項(国税分)

平成22年度、平成23年度、平成23年12月、及び平成24年度税制改正のうち、平成24年分の所得税に適用される主要事項について記載しましたので申告等の参考にして下さい。

1. 平成22年度改正のうち、平成24年度分から適用されるもの

「介護医療保険料控除」が創設され次のように改組された。

一般生命保険料控除・所得控除限度額 4万円(改正前5万円)

介護医療保険料控除・所得控除限度額 4万円(創設)

個人年金保険料控除・所得控除限度額 4万円(改正前5万円)

2. 平成23年度及び平成23年12月の所得税の主な改正事項

(1) 更正の請求範囲の拡大(法定申告期限23年12月2日以降について適用)

国税側 申告あり 更正 原則 5年(改正前原則3年)

申告なし 決定 原則 5年(改正前原則5年)

不正があった場合の更正、決定 7年(改正前同じ)

納税者側 税金の増額 修正申告 期限なし(実質的に増額更正と同じ期間)
(改正前同じ)

税金の減額 更正の請求 原則 5年(改正前1年)

(2) 災害関連支出等の改正(23年1月1日以後に支出した災害関連支出等について適用)

①被災事業用資産の損失に含まれるその災害に関連するやむを得ない支出について、大規模な災害の場合その他やむを得ない事情がある場合には、災害のやんだ日から1年超3年以内に支出する費用を追加することとされた。(改正前1年以内)

②雑損控除の損失の金額に含まれる災害関連支出についても①と同様。(改正前1年以内)

(3) 減価償却資産の定率法の改正(平成24年4月1日以後に取得する償却資産について適用)

減価償却制度について、平成24年4月1日以後に取得する減価償却資産の定率法の償却率は、定額法の償却率を2.0倍した割合(改正前2.5倍した割合)とされた。

(注1) 定率法を採用している者が、平成24年4月1日から同年12月31日までの間に減価償却資産の取得をした場合には、改正前の償却率による定率法により償却することができる。

(注2) 平成24年4月1日前に取得をした定率法を採用している減価償却資産について、平成24年分の確定申告期限までに届出をすることにより、その償却率を改正後の償却率により償却費の計算等を行うことができる。

3. 平成24年分の所得税の主な改正事項

(1) 住宅借入金等特別控除の改正

認定低炭素住宅の取得をして、平成24年又は平成25年に居住の用に供した場合における住宅借入金等の年末残高の限度額及び控除率が、次のとおりとされた

居住年	控除期間	年末残高の限度額	控除率
平成24年	10年	4,000万円	1.0%
平成25年	10年	3,000万円	1.0%

(2) 医療費控除(平成24年4月1日以後に支払う医療費について適用)

医療費控除の対象範囲に介護福祉士による喀痰(かたん)吸引等及び認定特定行為業務従事者による特定行為に係る費用の自己負担分が加えられた。(平成24年4月1日以後に支払う医療費について適用される)

宮城県商工会連合会 嘱託専門指導員 菅野正弘

お詫び

商工連会報286号(1)に掲載しました第27回大崎パルーンフェスティバルの記事の中で「大崎商工会青年部」と記載しましたが、正しくは「玉造商工会青年部」です。

訂正しお詫び申し上げます



青年部
コーナー

絆宮城に元気を！ 震災復興イベントの開催

商工会青年部復興祭2012〜未来へ向かって〜

—宮城県商工会青年部連合会—

去る十一月十日、十一日の両日、「宮城県商工会青年部復興祭2012〜未来へ向かって〜」が仙台市西公園にて開催された。

本イベントは、東日本大震災により厳しい経営環境に置かれている本県商工業者の復興のため、

地場産品や地域産業のPRを行うとともに、新たな販路開拓の場として活用し、地域経済の早期復興を図ることを目的としたもので、二日間に亘り、被災事業所・商工会青年部あわせて二十一家が出演し、地元の特産品や青年部オリジナルの復興グッズ等を販売し、二万人の来場者があった。

みやぎまるごとチャリティー鍋合戦 栗原・登米ブロック「ナヌこの鍋」最優秀賞

初日に行われた県内五ブロック対抗の「みやぎまるごとチャリティー鍋合戦」では、各地域の地元の食材を使った自慢の鍋の味を競い、来場者からの投票の結果、栗原・登米ブロックの「ナヌこの鍋」が最優秀鍋賞に輝いた。

この鍋は、漢方牛・自然薯・山菜（栗原）、油麩・にらはっと（登米）、れんこん（両地域）等の栗原・登米両地域の「当地食材」を使用し、両地域の良い部分を掛け合わせて作ったもので、あまりの美味しさに「何（ナヌ）、この鍋!」と感嘆の声が聞かれた。

また、チャリティー鍋合戦の売上げと会場で頂戴した募金とを合わせた、二十二万七千六百九十九円を宮城県社会福祉協議会に寄付した。

宮城の「復興力」「発展力」地域を超えた団結力

ステージイベントでは、青年部応援ソングを作詞作曲した小椋誠也ライブをはじめ、県内各地域の伝統芸能や「当地ヒーロー」ショー等を催し、会場を盛り上げた。

加えて、会場には県外から多くの青年部員の視察があり、部員間の交流が図られたことにより、部員同士の絆が深まり本県青年部の「復興力」「発展力」を県外へ発信し、併せて全国各地から寄せられた支援に対しての感謝の意を表わすことが出来た。

更に、県内青年部員が一丸となり、本イベントを開催したことで、地域を超えた繋がりと、団結力が生まれ、今後の青年部活動が益々活発化する事となった。

宮城県商工会青年部連合会 ホームページを開設しております

県下商工会青年部が行うイベント等の予告及び現在の活動状況、本会が推奨する特産品販売店、宿泊施設等青年部員事業所の情報を全国に発信するツール

として平成二十四年六月二十日に開設いたしました。青年部復興祭の詳細についても掲載しておりますのでぜひアクセスして下さい！

宮城県商工会青年部連合会 公式ホームページ <http://impulse-miyagi.com/>



開会宣言をする首原実行委員長

来賓と実行委員役員によるテープカット



小椋誠也氏のライブ中、部員がステージに上がり一緒に歌う



多くの来場者でにぎわう場内



みやぎまるごとチャリティー鍋合戦で最優秀鍋賞に輝いた栗原・登米ブロックの皆さん

— \$ 安い掛金で大きな安心 \$ —

宮城県火災共済グループ

共済金額を限度に損害額を全額補償する
「新総合火災共済」をお勧めします。(住宅・併用住宅のみ)

先ずはお見積を！！

民間の損害保険会社の地震保険を取扱っております
あるいは直接 宮城県火災共済協同組合 宮城県中小企業共済協同組合
TEL 022(263)1265 FAX 022(267)2878

火災共済

自動車共済

その他
各種共済

お問い合わせ・お申込みは **お近くの商工会へ**